

橋本市ハザードマップ山田地区



縮尺1：7,500

凡 例		土砂災害警戒区域	紀の川浸水想定区域 (想定最大規模)
Ⓐ 拠点避難所	● 市役所	急傾斜(特別警戒区域)	10.0m～20.0m
ⓧ 警察署・交番	消防署	急傾斜(警戒区域)	5.0m～10.0m
法指定地		土石流(特別警戒区域)	3.0m～5.0m
砂防指定地		土石流(警戒区域)	0.5m～3.0m
		地すべり	～0.5m

紀の川浸水想定区域(想定最大規模)

(1) この図は、紀の川水系紀の川の洪水予報区間について、水防法の規定により想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の紀の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により紀の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

(4) 指定の前提となる降雨
橋本地点上流域の2日間総雨量 678 mm

想定作成主体：国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所

土砂災害警戒区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。